

ひよこ組

頬に感じる風もだんだん冷たくなりましたが、ひよこ組さんは園庭で元気いっぱい遊んでいます。

戸外活動での行き帰りでは、保育者と手を繋いで階段の上り下りをし、自分の靴を出すなど自分でできる、やろうとする姿が増えてきました。園庭では好きなところに自由にとことこ行き、いろいろな発見をしたりやってみたりと興味もどんどん増えています。シャベルで上手に砂をすくってカップや容器に入れ、「どうぞ!」と渡してくれたり、口をモグモグしてまるで食べているようにままごと遊びを楽しんでいる姿がとてもかわいいです。子どもたちの探索行動を大切にしながら、安全でケガのないように十分に体を使った遊びを楽しんでいます。

こあら組

朝晩の空気がぐっと涼しくなり、気温の変化が激しい季節になりました。鼻水の出る子も増えてきています。衣服は長袖へと変わり、手洗いの際には「袖をまろうね」と声をかけ、自分でできるように練習しています。

10月の製作では「どんぐり」をテーマに、紙をちぎることに挑戦しました。最初は紙テープから始め、次に製作用折り紙でも挑戦です。ちぎることが難しく苦戦する姿もありましたが、指先を使いながら一生懸命取り組む姿が見られました。製作にちなんで保育者が持ってきたどんぐりや松ぼっくりを触ったり、園庭ではカップにいれるなどして遊ぶ姿が楽しそうでした。

11月はお散歩の中で、自然の中のどんぐり探しをしてみました。

うさぎ組

ようやく秋めいた気候になり、心地よく思いきり戸外で遊べる日が多くなってきました。空の雲を見上げる子、どんぐりや落ち葉を拾って小さいお友だちに「どうぞ」と分けてあげる子、「うんとこしょどっこいしょ」と穴を掘る子など、秋の自然を感じながらかけっこなど元気に体を動かして遊んでいます。

先月は、運動会やハロウィン、お店屋さんごっこに参加し、子どもたちの笑顔がたくさん見られました。お部屋では、バンダナを頭に巻いたりマントにしたりして、お気に入りの布かばんを持ち、「いってきますー」とお買い物ごっこ。かばんの中にはおままごとの食べ物や絵本、ブロックがいっぱいです。

今月も、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わえるよう、関わりを見守っていききたいと思います。

年少組

昼夜の寒暖の差もだんだんと大きくなり、少しずつ冬の訪れを感じる頃となりました。色とりどりの落ち葉や様々な形のどんぐりを拾い、ますます深まる秋を感じながら自然との触れ合いを楽しんでいます。

10月に行われた運動会では、子どもたちの成長した姿が見られたのではないのでしょうか。子どもたちは、日々たくさん練習し、お家の人に見てもらうことを楽しみにしていました。

これからクリスマス会に向けて練習が始まります。一人ひとりの頑張りを褒め、自信を持ってステージに立てるように楽しく練習を進めていきます。

段々と寒くなり、上着を着て登園する日も増えてきます。園では上着の着脱や畳み方を練習していきます。ご家庭でも上着のファスナーやボタン、畳み方を練習してみてくださいね。

年中組

気温が下がり、寒さを感じて上着を着てくるお子さまも多くなりました。自分で畳んでロッカーにしまえるよう、畳み方を確認し練習しています。

お店屋さんごっこでは、各クラスで何を作って売るかを考え、うめ組は「コンビニ」、ふじ組は「おもちゃ屋さん」を行いました。出来た物を友だちと見せあったり、「楽しみ!」という声が聞こえてきたり、各クラス本番に期待感を持って、商品作りを頑張りと、売ることができました。ぜひご家庭でも、お子さまから感想を聞いてみてください。

お店屋さんごっこも終わり、クリスマス会に向けた練習が始まります。初めての劇に挑戦し、マイクの前に立って台詞を発表します。物語に親しみながら、演じる楽しさを味わって行きたいと思います。

年長組

先日はお店屋さんごっこを行いました。それぞれのクラスで話し合い、何のお店をするか、何を売るかを決め、大切に愛情を込めて商品を作りました。当日は、買った商品を友だちと見せ合ったり、店員さん役になりきったりと、子どもたちの楽しむ姿が見られました。また初めて行う体験コーナーでは、遊び方の説明や、対応の仕方を考え、ドキドキしながらも一所懸命に行うことができました。

いよいよクリスマス会の練習が始まります。劇の題材、配役が決まると、一人ひとりがセリフを覚え、マイクの前で発表する経験をします。みんなで心一つにして劇を作り上げて行きます。

寒暖差から体調を崩しやすい時期ですので、体調管理をしながら過ごしていきましょう。

《幼児 11月の目標》

◎冬の生活習慣について 手洗いや衣服の調整といった冬の生活習慣を身につけていきます。

- ・石鹸でしっかりと手を洗いましょう
- ・鼻水が出たらティッシュペーパーで鼻をかみましょう
- ・ポケットに手を入れて歩くと危ないので出しましょう
- ・防寒具のファスナーやボタンを留めましょう

◎けんか（葛藤、つまずき、いざこざ）について

お子さまが「ともだちとけんかした」とご家庭で話すことはありませんか。そのような話を聞くと心配になりますね。けんかは成長の一步です。一歳の頃の「一人遊び」、そして二歳の頃の「平行遊び」（同じ遊びを並んで別々にする）を経て、幼児期に好きな友だちと一緒に何かをする「連合遊び」「協同遊び」へと移行していきます。他者に興味を持ち、関わるようになった中でけんかをするのは自然な姿です。数々のけんかを通して、様々な感情を経験し、自己をコントロールする力を身につけます。相手の気持ちに気づき、対人関係のルールを知り、心持ちを育む機会です。

- ・けんかをしたときは自分の気持ちを表現しましょう
- ・表現や解決が難しいときは周りの大人に「たすけて」と言いましょう